

市で実施しているがん検診

がん検診の対象者には、4月上旬に案内通知を郵送しました。同封の医療機関一覧より受診する医療機関を決めて、直接予約してください。検診を受ける際には「がん検診等受診券シート」が必要です。がん検診の費用や実施期間などの詳細は市ホームページでも確認できます。



▲がん検診の詳細はこちら

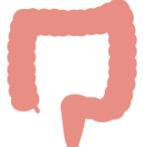
胃がん検診



検診内容
●問診・胃バリウム検査
または胃内視鏡検査
対象 40歳以上の人
受診間隔 1年に1回

女性よりも男性がかかりやすい傾向にあります

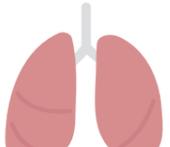
大腸がん検診



検診内容
●問診・便潜血反応検査
2日法
対象 40歳以上の人
受診間隔 1年に1回

男女ともに40歳代からかかりやすくなります

肺がん検診



検診内容
●問診・胸部レントゲン検査
●喀痰細胞診(50歳以上、喫煙指数600以上)
対象 40歳以上の人
受診間隔 1年に1回

受動喫煙も肺がんになる可能性を高めます

前立腺がん検診



検診内容
●問診・血液検査(PSA)
対象 50歳から84歳の男性
受診間隔 1年に1回

加齢とともにかかりやすくなります

子宮頸がん検診



検診内容
●問診・診察・子宮頸部細胞診
対象 20歳以上の女性
受診間隔 1年に1回

若い世代がかかりやすい傾向にあります

乳・甲状腺がん検診



検診内容
●問診・視触診・マンモグラフィ検査
対象 40歳以上の女性
受診間隔 2年に1回

女性の9人に1人が乳がんにかかっています

症状があったら検診ではなく、すぐに医療機関を受診しましょう！

「このくらい大丈夫」と我慢したり、「忙しいから」と自分の体のことを後回しにしたりしていませんか？「あの時もっと早く受診していれば…」と後悔しないためにも、気になる症状やいつもと違う体の変化に気が付いたら、かかりつけ医や専門医をすぐに受診しましょう。

女性のための新しい生活習慣 ～ブレスト・アウェアネスを取り入れましょう～

ブレスト・アウェアネスとは、「乳房を意識する生活習慣」のことです。乳がんの早期発見などのために、次の4つのポイントを実践して、変化に気付けるようにしましょう。ブレスト・アウェアネスと一緒に、月1回の自己検診もしてみましょう。市ホームページで自己検診の方法を紹介しています。ぜひご覧ください。



市ホームページはこちら

1 乳房の状態を知る

普段の着替えや入浴時などに乳房を見たり、触ったりするようにしましょう

2 変化に気を付ける

乳房の状態に、いつもと違うところはないかを意識するようにしましょう

3 変化に気付いたら相談する

乳房の変化に気付いたら、自己判断せずに、すぐに乳腺外科や外科に相談しましょう

4 2年に1回乳がん検診を受ける

40歳を過ぎたら、乳房に異常を感じなくても、定期的に検診を受けましょう

早期発見で、治療にかかる時間も費用も少なく！

がんは早い段階で発見することが重要ですが、早期のがんにはほとんど自覚症状がありません。がん検診を定期的に受けることで、早期発見することができ、治療にかかる時間や費用が少なくなります。



もし精密検査が必要と言われたら、必ず受診を！

がん検診で精密検査が必要と言われても受けていない人がいます。がんは早期発見・早期治療により、治る可能性が高まります。早期に発見するためには精密検査を受けることが重要です。精密検査が必要と言われたら、必ず医療機関を受診しましょう。



市は、がんの早期発見・適切な治療により、がんによる死亡を減らすことを目的に、がん検診を推進しています



がんは種類やできた場所により、発見が難しく、治療が遅れてしまうことがあります。そのため、罹患数と死亡数の順位は少し違ってきます。

日本人の死因第1位はがん

日本人の死因として最も多いのがんです。がんは種類によって傾向が異なるものの、一般的に年齢が上がるにつれてかかる人が増加します。また、女性に比べ男性はがんにかかる人が多い傾向にあります。

がん罹患数の順位(令和元年)

性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

がん死亡数の順位(令和3年)

性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

※上記2表出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」